

# 令和7年度第2回ものづくり振興会議

1. 令和7年度ものづくりアクションプラン事業実績
  - (1) 報告事項 …… p1
  - (2) 補助支援制度の実績 …… p9
  - (3) その他支援活動の取組実績 …… p12
  
2. 令和8年度の取組 ……p15

- 令和8年2月2日に国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した「**松江市製造業エネルギーコスト削減対策支援事業補助金**」の募集を開始  
※同日に「**島根県製造業エネルギーコスト削減対策緊急支援事業補助金**」の公募も開始
- 市内製造業者の省エネルギー化を図る取組を幅広く支援する。

## 省エネルギー化を図る取組を応援します！

### 1 対象となる取組

省エネルギー化を図る取組

- 設備の更新
- エネルギー使用量削減を図る現場改善
- エネルギー使用量の見える化を行う設備やシステムの導入

※具体例は裏面に記載

### 2 補助率・補助額

補助率：1/2以内

補助上限：450万円

補助下限：20万円

### 3 申請期間

令和8年2月2日

～令和9年1月29日

上記期間で**随時募集**

※予算がなくなり次第募集を終了します。

島根県ものづくり産業エネルギーコスト削減対策緊急支援事業補助金と併用できます！

県補助金  
最大750万円

+

松江市補助金  
最大450万円



併用 することで・・・

**最大1,200万円**

を補助可能

予算額

■ 62,583,000円

周知活動

- H P の開設
- 各商工団体への D M
- 松江ものづくり.net掲載企業への D M
- 企業訪問による案内
- 新聞折込の実施
- 商工会議所会報への情報掲載

※商業・サービス業を対象とした、「松江市商業・サービス業エネルギーコスト削減対策支援事業補助金」も松江市商工企画課にて令和8年2月24日に募集を開始している。

# 三菱マヒンドラ農機(株)の 農業機械事業からの撤退表明 以降の対応

- 3月 2日 (月) 三菱マヒンドラ農機(株)が農業機械事業の撤退を発表  
島根県と連携し対応することを確認  
市役所にて『**第1回 緊急対策庁内会議**』開催  
市長コメント発表
- 3月 3日 (火) 県庁にて **島根県と共同で『緊急対策合同会議』**開催  
協力企業へのヒアリングを開始 (関係機関も参加)
- 3月 6日 (金) 市役所にて『**第2回 緊急対策庁内会議**』開催
- 3月 9日 (月) 関係機関と『**第1回 就職支援チーム会議**』開催
- 3月17日 (火) **島根県と共同で**  
『**第1回 協力企業支援チーム**  
**会議**』開催
- 【今後の予定】
- 3月27日 (金) **島根県と共同で 支援施策に関する**  
**協力企業向け説明会** 開催



緊急対策合同会議 (R8. 3. 3)

# 三菱マヒンドラ農機(株)の 農業機械事業からの撤退にかかる支援体制

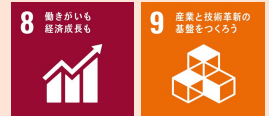
- ✓ 『従業員のリ就職・生活不安の払拭』 『協力企業の事業継続』 の2つを柱に、島根県、松江商工会議所、商工会、島根労働局、ハローワークなどの関係機関と、それぞれの支援チームを設置
- ✓ 支援策をタイムリーに講じ、「誰一人取り残さない対応」を推進

## ＜支援体制 2つの柱＞

1. 『就職支援チーム会議』 ※第1回を3月9日(月)に開催済
  - ・ 従業員の再就職に向けて、求人情報の集約・マッチング
  - ・ 雇用保険・国民年金など当面の生活に関わる内容の説明会開催
2. 『協力企業支援チーム会議』 ※第1回を3月17日(火)に開催済
  - ・ 島根県と松江市の支援施策(資金調達、販路拡大、設備投資)の迅速な広報・周知と、その活用に当たっての伴走支援
  - ・ 関係機関が持つ広域的なネットワークを生かした販路の開拓

## 協力企業の資金繰りを支援

**新** ～信用保証料補給金（三菱マヒンドラ農機関連）～



事業費：2,000万円

協力企業の資金繰りを支援し経営の安定化を図るため、**島根県中小企業融資制度による運転資金の借入にあたり支払った信用保証料を全額助成する。**（繰越明許費設定）

## ○対象者

三菱マヒンドラ農機(株)またはリョーノーファクトリー(株)との取引(間接的な取引を含む)が売上全体の5%以上を占め、売上高について前年同期比5%以上の減少が見込まれる事業者

## ○対象経費

島根県の中小企業制度融資を活用した運転資金の借入にかかる信用保証料の全額

## ○補助率

10/10（全額）

## 【参考】島根県中小企業融資制度のうち「セーフティネット資金」概要

- 対象者 経営の安定に支障が生じている中小企業者等
- 融資期間 8年間（据置期間1年以内）
- 融資利率(R7) 1.35%（責任共有） 1.20%（責任共有以外）
- 融資限度額 8,000万円



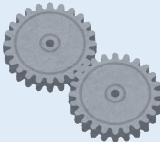
## 協力企業の販路拡大を支援（1）

**新** ～販路拡大支援事業費（三菱マヒンドラ農機関連）（県協調分）～  
（販路拡大支援事業費（三菱マヒンドラ農機関連））



事業費：704万円

事業継続に向けた経営の安定化を図るため、島根県と協調して、**三菱マヒンドラ農機(株)の撤退により売上高に影響が出る協力企業に対して、販路拡大のための取組みにかかる経費を支援する。**（繰越明許費設定）

事業名	概要	補助率 (上限額)	対象者
①営業代行を活用した ものづくり産業販路拡大 支援事業※ 【事業費550万円】	ものづくり企業が営業代行業者を活用して、自社の製品・部品等を営業・販売する取組みを支援	県3/4 市1/4 (200万円)	三菱マヒンドラ農機(株) またはリョーノーファ クトリー(株)との取引が 売上全体の5%以上を 占める市内製造業者  
②展示会出展支援事業 【事業費94万円】	しまね産業振興財団が展示会で用意する共同出展ブースの出展負担金を支援	10/10 (7.5万円)	
③専門展示会出展支援事業※ 【事業費60万円】	県外で開催される展示会への出展費用を支援	県3/4 市1/4 (60万円)	

※①・③の対象は、島根県の「営業代行等を活用したものづくり産業販路拡大支援助成金」「専門展示会出展助成金」の交付決定を受けている事業。本市補助制度を合わせると**補助率は10/10**

## 協力企業の販路拡大を支援（2）

**新** ～販路拡大支援事業費（三菱マヒンドラ農機関連）（市単独分）～  
（販路拡大支援事業費（三菱マヒンドラ農機関連））



事業費：573万円

松江商工会議所、東出雲町商工会などの関係機関が行う、協力企業に対する販路拡大の取組みを支援し、経営基盤の強化につなげる。協力企業と新たな取引企業とのビジネスマッチング業務を委託する。（繰越明許費設定）

協力企業の販路拡大のためのPR活動を支援

事業費：200万円

協力企業の販路拡大のためのマッチングを支援

事業費：373万円

## 【事業内容】

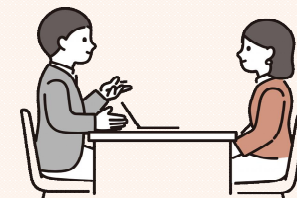
協力企業が持つ技術や設備を市内外の製造業者にPRし、取引の開始・拡大を図るため、松江商工会議所、東出雲町商工会などの関係機関が連携し取り組む活動を支援

【補助率】 2/3

【対象経費】 PR素材の作成・活用経費

## 【事業内容】

関係機関が協力企業に対して、県外企業との取引を紹介する際に、協力企業がそれぞれが有する技術・設備・処理能力などを踏まえたビジネスマッチングが必要となるため、市内製造業に精通した専門業者に委託することで、販路拡大を推進



## 協力企業の生産プロセス変革・拡充を支援

**新** ～製造業生産プロセス変革等支援事業費（三菱マヒンドラ農機関連）～

事業費：5,400万円



製造業者の収益確保に資する、**生産プロセスの変革・拡充または新事業の構築に必要な設備投資にかかる経費を、島根県と協調して支援**する。（繰越明許費設定）

## 【補助率イメージ】

事業費4,000万円の場合 事業費6,000万円の場合  
 県+市=3,600万円 県+市=5,400万円  
 (補助割合 9/10) (補助割合 9/10)

【対象要件（①②③のすべてを満たす）】

- ①三菱マヒンドラ農機(株)またはリョーノーファクトリー(株)との取引が売上全体の5%以上を占める市内製造業者
- ②新規受注に対応する設備投資
- ③島根県の「ものづくり産業生産プロセス変革等支援事業補助金」の交付決定を受けていること

【補助率・補助上限額】

補助率：県 (7.5/10) + 市 (1.5/10) 9/10以内

事業費	市補助割合	市上限額
4,000万円以下	1.5/10	600万円
4,000万円を超える場合	9/10-県補助割合	3,000万円

【参考】県補助金の内容

○補助率：7.5/10 (=3/4) (上限額：3,000万円)

<p>【県】 補助率 7.5/10 補助額 3,000万円</p>	<p>【県】 補助割合 5/10 補助額 3,000万円 (上限額)</p>
<p>【市】 補助率 1.5/10 補助額 600万円</p>	<p>【市】 補助割合 4/10 補助額 2,400万円</p>
<p>【事業者】 自己負担400万円</p>	<p>【事業者】 自己負担600万円</p>

## 協力企業が収益確保を図るための新たな取組みを支援

**新** ～商業・サービス業等新事業支援事業費（三菱マヒンドラ農機関連）～



事業費：1,080万円

飲食・商業・サービス業等が収益確保を図るため、  
**新たに取り組む施設改修・設備導入等にかかる経費**  
**を、島根県と協調して支援**する。（繰越明許費設定）

## 【補助率イメージ】

事業費800万円の場合

県＋市＝720万円  
（補助割合 9/10）

事業費1,200万円の場合

県＋市＝1,080万円  
（補助割合 9/10）

## 【対象要件（①②③のすべてを満たす）】

- ①三菱マヒンドラ農機(株)またはリョーノーファクトリー(株)との取引が売上全体の5%以上を占める事業者
- ②新規の施設改修費・設備導入費・設備に関連する備品費
- ③島根県の「飲食・商業・サービス業新事業展開支援事業補助金」の交付決定を受けていること

## 【補助率・補助上限額】

補助率：県（7.5/10）＋市（1.5/10） 9/10以内

事業費	市補助割合	市上限額
800万円以下	1.5/10	120万円
800万円を超える場合	9/10-県補助割合	600万円

【県】  
補助率 7.5/10  
補助額 600万円

【県】  
補助割合 5/10  
補助額 600万円  
（上限額）

【市】  
補助率 1.5/10  
補助額 120万円

【市】  
補助割合 4/10  
補助額 480万円

【事業者】  
自己負担80万円

【事業者】  
自己負担120万円

## 【参考】県補助金の内容

○補助率：7.5/10（＝3/4）（上限額：600万円）

- 令和8年3月17日時点で企業訪問件数は1,121件、相談件数は1,168件
- 相談件数は1,168件で目標に達したものの、訪問件数は1,121件で目標に達しなかった。

令和8年3月17日時点

	目標	実績	進捗率
企業訪問件数	1,200件	1,121件	93.4%
相談件数	1,000件	1,168件	116.8%

## 取組内容（11月～3月で実施したもの）

- 松江ものづくり.netの掲載情報確認  
約300社への訪問し、松江ものづくり.netに掲載する企業情報の聞き取りを実施
- エネルギーコスト削減対策補助金の周知  
島根県分、松江市分の両方を案内
- DX取組事例セミナーの案内  
令和8年2月20日に開催した  
「中小企業におけるDXセミナー」の参加案内
- 補助支援制度活用フォロー
- 企業の状況確認

## 来年度の訪問等計画

- 企業訪問件数の目標件数を達成できなかったことを考慮し、来年度は新たに6月から9月にかけて補助金活用を検討している企業へのフォローアップでの訪問を計画し、目標件数の達成を図る。

時期	訪問内容	見込件数
4月～5月	支援制度周知	300件
6月～7月	「ビジネスマッチングin境港」の参加案内	300件
6月～9月	補助支援制度活用検討企業へのフォロー	150件
10月～2月	松江ものづくり.netの掲載情報確認	300件
随時	企業の状況確認、補助金活用企業フォロー	150件

- 新規登録企業数は、前回会議から新たに2社追加し、8社となった。
- 特集記事掲載件数は、前回会議から新たに8件掲載し、29件となった。
- 特集記事は新商品発売だけでなく、当センターで作成しているショーテーブルの記事を掲載

令和8年3月17日時点

目標	実績	進捗率
新規登録企業数	3社	8社
特集記事掲載件数	20件	29件
		266.7%
		145.0%

掲載記事抜粋 ※今年度掲載記事一覧は【資料2】p1に掲載しています。

香ばしさと甘みの調和『ナンのきな粉あまざけ』新発売！ (有限会社南目製粉)



- 創業230年南目製粉の伝統ある製粉技術で丁寧に焙煎した香ばしいきな粉と  
米麹の自然な甘みと掛け合わせた、優しい味わいのノンアルコール飲料です  
米麹の甘酒は、ノンアルコール&無添加でどなたでも飲みいただけます
- ◇ナンのきな粉の原料大豆は「畑の肉」と呼ばれる高植物性タンパク質。  
必須アミノ酸を含む「完全タンパク質食材」で、他にビタミンB群、ミネラル、  
食物繊維、イソフラボンなどをバランスよく含んでいます。  
「あまざけ」と「きな粉」がマリアージュした栄養ドリンクができました。
- ◇「飲む点滴」と呼ばれるほど栄養満点な米麹甘酒  
江戸時代には、夏バテ対策の栄養ドリンクとして麹の甘酒が親しまれてきました。



- おいしい きなこは なんめ♪♪で島根県民には皆馴染みの3兄弟が登場。  
あまざけ王子ラベルとは、ラベルのデザインが違い中身は同じです。お好きなデザインをお選びください。

ショーテーブル リニューアル版完成！ (株式会社フクテコ)



【After リニューアル版】

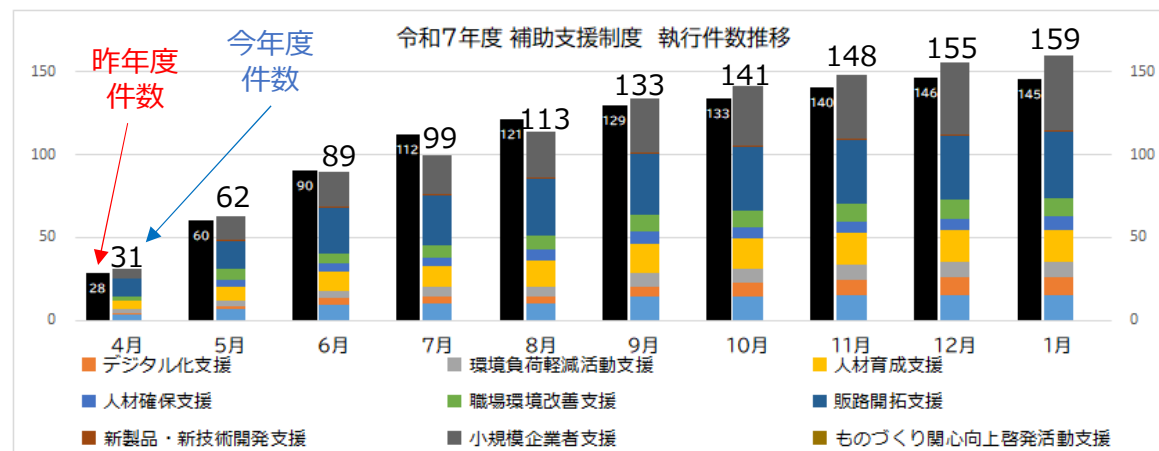


【Before 従来版】

- ◆ショーテーブル横展開の取組みについて
- ①5年前、ショーテーブル(会社概況のPR手段)を(株)フクテコを皮切りに今日まで30社に当該企業と協業し横展開を図ってきました
  - ②そして今日まで、自社内で経営の変化点の改修等見直しを行い活用されていますまた自社の独自カラーを加えカスタマイズしている企業もあります
  - ③一方で、この支援活動の初期段階(1社目~8社目位)は、現時点から見ると内容的に若干不足な部分もあり、高位平準化を図るべく部分的な改修が必要と認識しています
  - ④今後、当該企業と調整し順次部分改修に向け取組んでいきたいと思っております
  - ⑤今回、起点である(株)フクテコから改修を開始しました(フクテコは全面改修)
- ◆(株)フクテコの全面リニューアル(B&A)について
- ①紹介パネルを従来6枚から8枚に変更、そして各パーツの内容も充実させ、よりお客様目線に立った会社紹介ストーリー及び内容になるよう、分かり易さを今まで以上に表現した
  - ②設置スペースを従来の会議机1台から2台に拡大し、各パーツの設置に立体感を持たせた
  - ③従来通り、常設タイプではなく移動式(お客様の状況により製造現場OR会議室への設置)にて使用するスタイルを継続する
  - ④また、お客様ウェルカム表現として、団体名刺など小道具にもこだわりを持たせた

- 令和8年1月29日現在で予算の上限に達したため、今年度の申請受付を終了
- 令和8年1月29日時点で交付決定件数159件、交付決定額は59,936,000円、**予算執行率は99.9%**

No.	補助金名	活動指標	件数			金額
			目標	実績	進捗率	交付決定額
1	設備導入	支援件数 (件)	30	15	50.0%	19,669,000円
2	デジタル化	支援件数 (件)	10	11	110.0%	3,761,000円
3	環境負荷軽減活動	支援件数 (件)	5	9	180.0%	3,846,000円
4	人材育成・確保	支援件数 (件)	20	27	135.0%	5,017,000円
5	職場環境改善	支援件数 (件)	10	11	110.0%	1,857,000円
6	販路開拓	支援件数 (件)	30	40	133.3%	14,859,000円
7	新製品・新技術開発	トライアル支援件数 (件)	2	0	0.0%	0円
		開発スタートアップ支援件数 (件)	1	1	100.0%	835,000円
		実用化製品化支援件数 (件)	1	0	0.0%	0円
8	小規模企業者	支援件数 (件)	40	45	112.5%	10,092,000円
合計		-	149	159	106.7%	<b>59,936,000円</b>



【当初】

予算額	55,000,000円
予算残額	<b>-4,936,000円</b>
予算執行率	<b>109.0%</b>

【R8.9末日 調整後】

予算額(調整後)	60,000,000円
予算残額	<b>64,000円</b>
予算執行率	<b>99.9%</b>

ねらい	松江市内の起業家、第二創業者（革新的に事業転換や事業承継をする者）、社内起業家などが挑戦する、革新的なビジネスの実現と成長を伴走支援する「MATSUE起業エコシステム」の構築に取り組む。
活動実績 (R8.2月末)	新設法人数 期間目標 450社 (R4~R7計) 年間目標 120社 実績 100社 達成率 83.3% 創業相談支援件数 期間目標 3,680件 (R4~R7計) 年間目標1,070件 実績 765件 達成率 71.4% ※12月末時点
下期の実績 (実績値はR8.2月末)	2023年1月に設立したMATSUE起業エコシステムコンソーシアムの事務局として、下記の支援活動を実施。 <b>(1)【コミュニティ運営】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ「MIX」において、毎週木曜日の「夜活」を実施。(36回/223人参加) →事業承継予定の後継者を招いた交流会や地域に根ざした事業（公益経営）をテーマにした勉強会などを実施</li> <li>・2/21MATSUE Tech-Product Award 2026の開催 (50人参加) (主催：MATSUE Tech-Product Award実行委員会、共催：MATSUE起業エコシステムコンソーシアム)</li> </ul> <主要実績> <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業等イベント参加人数 49回/912人 ・MIXDAY（個別相談）16回/16人</li> </ul> <b>(2)【事業化支援・人材育成】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業化支援プログラム「MATSUE DREAMS アクセラレータープログラム2025」を企画・開催。 →事業者4組、サポーター4人が参加し、アイデアソン（ビジネスアイデアの創出）に取り組んだ。</li> </ul> <主要実績> <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業等事業化件数 3件</li> </ul> <b>(3)【アントレプレナーシップ教育】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しまね未来共創チャレンジ（U18/U25の挑戦を応援するプログラム）に補助金による支援を実施。</li> </ul> <主要実績> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アントレプレナーシップ教育参加人数 35(人/年) ※U18版23人、U25版12人</li> </ul> <b>(4)【プロモーション】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Instagram、XなどのSNSを活用した情報発信（投稿数：44回、視聴数：43,846）</li> <li>・PRTIMESでの情報発信（クラウドファンディング開始、特別イベント開催など5件）</li> </ul> <b>(5)【その他】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しまね移住フェアへブース出展（9/28大阪、11/30東京） →島根への移住に合わせて起業を検討する方へ各支援メニューをご案内 (島根県信用保証協会、しまね産業振興財団等との共同出展)</li> </ul>

28名サポート中  
※2026年2月末時点

### 属性

・起業家予備軍	10人
・個人事業主	5人
・中小企業経営者	10人
・新規事業担当者	1人
・その他	2人

### 分野

・IT	10人
・サービス	8人
・ヘルスケア	4人
・飲食	3人
・その他	3人

### 受けているサポート

・個別相談	22人
・MIXPoC	3人
・アクセラレータープログラム	4人 ※重複あり

＜本事業による支援を受けた事業者について＞



株式会社 ゲームガム  
代表取締役CEO  
黒田 隆史さん

**GameGum**

#### MIXコミュニティでの個別相談



2024年9月法人を設立。  
(株)テクノプロジェクトと  
事業連携し、メタバース  
上で日南町を再現し、地  
域をPRするゲームとし  
て大阪・関西万博に出展  
した。

ネット仮想空間体験イベント  
万博会場でゲームガムと共催



(山陰経済ウィークリー)



株式会社  
デジタルツイン総合研究所  
代表取締役CEO  
黒田 佳吏夫さん

**デジタルツイン総合研究所**

#### アクセラレータープログラム（2024年度）、みらチャレ（2024年度グランプリ受賞）で支援



2025年7月法人を設立  
AIを使用して、現実の  
モノや環境、プロセス  
をデジタル空間上に再  
現して、予測や効率化  
に活用するサービスを  
展開中。

AI×デジタルツイン技術を  
活用したシステムの開発・導入支援

私たちは、業界第一の専門性により、デジタルツイン技術を活用したソリューションの開発と、企業・自治体・教育機関に対するインフォメーション支援を行っています。

リアルな人・モノ・社会の構造をデジタル上に再現することで、課題の可視化・事前予測・意思決定の最適化を実現します。



株式会社Orga  
代表取締役  
曾我 瞭さん

**Orga**

#### MIXコミュニティでの個別相談

2025年7月法人を設立  
中小企業からの採用から人材育成、組織開発  
などに関するコンサルティング事業を展開中。

企業紹介・派遣業務代行

採用・研修の現場で活用できる人材育成プログラムを企画・開発し、導入・運用までサポートいたします。

人材・業務・組織・研修まで一貫してサポートし、企業価値を高める事に貢献いたします。



- ・ 総務省テレワーク・ワンストップ・サポート事業との共催で「中小企業のためのDXセミナー」を実施
- ・ 星野工業株式会社（神奈川県川崎市）におけるDX事例とそのポイントを紹介

## 講演 中小企業におけるDXの事例とポイント（80分程度 ※質疑応答含む）

星野工業株式会社 専務取締役  
星野 智哉 氏



2017年株式会社プリンスホテル入社、品川・高輪エリアにある4棟の統括人事・管理を経て2022年に星野工業株式会社へ入社。  
働き方を抜本的に改革するべく、変形労働時間制や1時間単位の年次有給休暇制度を導入するとともに、週休3日制度も導入し、若手人材の採用強化に取り組む。

【星野工業株式会社ご紹介】 ※総務省「テレワークトッパー2024」選出企業

本社所在地	川崎市高津区下作延5丁目31番19号
代表取締役社長	星野 賢治
従業員数	18名(2025年8月現在)
事業内容	プラスチック射出成形、プラスチック射出成形付帯加工
URL	<a href="https://www.navida.ne.jp/snavi/100458_1.html">https://www.navida.ne.jp/snavi/100458_1.html</a>

- 開催日  
令和8年2月20日（金）
- 受講者数  
12名
- 講演内容  
星野工業株式会社（従業員数18名）におけるDX事例を中心に人材育成、確保への取組事例についてもご講演いただいた。



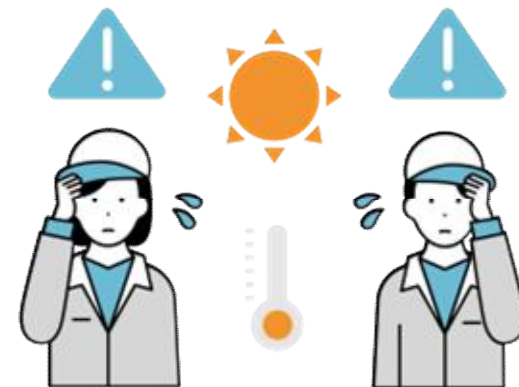
- 第5期ものづくりアクションプランの改定により今年度から補助支援制度を大きく更新しているため、基本的には今年度実施しているものを継続する。
- 当センターのすべての補助金について、令和8年度から完納証明書の提出は不要とする。

補助支援制度	継続/拡充	具体的内容
設備導入支援事業補助金	継続	-
デジタル化支援事業補助金	拡充	省力化実践事業の補助上限額・率を変更 旧:上限額10万円、補助率1/3 →新:上限額20万円、補助率1/2
環境負荷軽減活動支援事業補助金	継続	-
人材育成支援事業補助金	拡充	3月申込み4月実施の研修を補助対象にできるように調整
人材確保支援事業補助金	継続	-
職場環境改善支援事業補助金	拡充	新たに熱中症予防への取組を補助対象に追加
販路開拓支援事業補助金	拡充	宿泊費補助上限額の引上げ
新製品・新技術開発支援事業補助金	継続	-
小規模企業者支援事業補助金	継続	-
ものづくり関心向上啓発支援事業補助金	継続	-
製造業エネルギーコスト削減対策支援事業補助金	継続	-

- 令和7年6月1日の労働安全衛生規則改正により、すべて事業者対し熱中症対策が義務化されたことを受け、**令和8年度から新たに「職場環境改善支援事業補助金」に熱中症予防への取組を補助対象に追加**する。
- 市内製造業者の熱中症対策を推進すべく、**利用しやすく、幅広い取組を補助対象に設定**
- 補助率は1/2、補助上限額は20万円**

### 交付要件

- 市内に本社または製造拠点がある製造業者で市税に滞納がないこと
- 業務上発生する暑さ（※）**に対する熱中症予防が必要であること  
 ※ 「業務上発生する暑さ」は、以下のような場合を例とし、**幅広いケースを認める**。  
 屋外など空調が整備できない環境下での作業が必要な場合、炉・釜・熱処理装置、その他長時間稼働で熱を発生する設備があり室内が高温になる場合など



### 対象とする取組

熱中症予防のために新たに実施する以下の取組

- 空調服やアイスベスト、スポットクーラー等労働者の体表面の冷却を行う装備品や装置の導入  
 （アイスベスト等装備品に使用する保冷剤用冷凍庫の導入も含む。）
- 換気機能強化のための換気扇や換気ダクトの整備及びファンの導入
- 熱中症の初期症状等の体調の急変を把握できる小型携帯機器による健康管理システムの導入  
 （小型携帯機器導入も含む。ただし、スマートウォッチ等汎用性のある機器は除く。）
- WBGT指数計の導入



- 前回会議からさらに「松江ものづくり.net」の課題の深掘りを行った。  
→企業の特徴・強みの訴求力が弱く、マッチングまでつながっていないと考えられる。

## 課題

- 企業ページは情報が文字中心で縦に長く、ページをスクロールしないと欲しい情報が見えない。
- 企業の強みや技術の特徴が強調できておらず訴求力が低い。
- 別の企業ページを閲覧するには、検索ページに戻る必要があり、サイト回遊性が低い。
- デザインが古く見づらい部分がある。(スマートフォン用ページ)
- マッチングサイトという位置づけではあるが、マッチング機能に乏しい。



通常のPCモニター画面では企業ページに移動してきたとき赤枠範囲しか写らず、事業内容など重要な部分はスクロールしなければ確認できない。

写真がこの欄にしか入れることができず、他の部分が文字ばかりで情報が頭に入りづらい。

企業の特集記事欄は小さく、訴求力が弱い。文字も小さく読みづらい。



- 今回の改修では、当初からの目標である「マッチング機会を創出すること」の前段として、市内製造業者の「認知度・関心度向上」に注力する。具体的には下図を実施する予定。
- 令和8年度で具体的な改修内容を決定し、令和9年度で改修を実施予定とする。

## 認知度向上

## ① 関連企業表示機能の実装

関連企業やおすすめ企業を表示することで、横断的閲覧を促し、企業の認知機会増加を図る。

- ✓ おすすめ企業は検索履歴や閲覧履歴から選出
- ✓ 関連企業はサイドバーに表示し、サイト内の回遊性を向上させる。

## ② 企業検索機能の高度化（AI活用）

企業検索にAIを活用し利便性を向上させ、回遊性の向上と偶発的な認知機会を創出する。

- ✓ チャット型検索の実装
- ✓ 検索・閲覧履歴から関連企業を自動表示
- ✓ 企業の掲載文章からタグを自動生成

## 関心度向上

## ③ 見せたい項目の視認性向上

企業の特徴や強みを上位に表示し目立たせることで、閲覧者の興味を引きつける。

- ✓ 企業の特徴や強みの記載欄には図やイラストを使えるようにし、デザイン性を向上させる。

## ④ トップページ特集枠の強調

企業の取組をピックアップし、トップページに大きく掲載することで、企業の関心向上を図る。

- ✓ 現状よりも大きく、目立つように配置
- ✓ 取組のストーリーから企業の関心を引きつける。

## ⑤ その他の取組

その他上述の内容を活かす改修や運用を実施

- ✓ 使いやすく見やすいUI、ページレイアウトの実装
- ✓ 企業側でのページ修正機能など運用上利便性の高い機能の追加
- ✓ 定期的な企業の特集記事をSNSで発信